

## 平成26年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年7月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 山陽百貨店  
 コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画統括部長 (氏名) 岩野 誠

TEL 079-223-1231

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	4,994	2.6	67	22.3	81	12.4	50	13.1
25年2月期第1四半期	4,867	0.5	86	4.6	93	12.8	58	300.5

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 55百万円 (0.3%) 25年2月期第1四半期 55百万円 (393.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年2月期第1四半期	62.83	
25年2月期第1四半期	72.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	13,445	1,247	9.3
25年2月期	13,544	1,192	8.8

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 1,247百万円 25年2月期 1,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年2月期				0.00	0.00
26年2月期					
26年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	9,591	0.8	58	60.5	80	48.5	42	52.5	53.05
通期	19,657	1.5	220	38.9	246	36.3	173	34.6	215.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	810,000 株	25年2月期	810,000 株
26年2月期1Q	6,973 株	25年2月期	6,973 株
26年2月期1Q	803,027 株	25年2月期1Q	803,191 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、平成25年4月15日に公表いたしました平成26年2月期の業績予想を修正しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年5月31日）における国内経済は、円高の是正を背景にして企業業績に改善の動きがみられ、また、政府の経済政策への期待から株価が急速に回復するなど、景気の先行きは明るい兆しを見せ始めました。

百貨店業界におきましては、消費マインドの好転を受けて宝飾品・美術工芸品などの高額商品やファッション商材に回復の傾向がみられ、また、増床・改装効果のあった大都市圏の一部店舗では売上は好調に推移しましたが、地方都市の店舗におきましては、依然、厳しい商況が続いております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画（平成23年度～平成25年度）の最終年度を迎え、そのビジョンに掲げる「日本一生き生きとした百貨店」の実現に向け、さらなる取り組みの強化に努めるとともに、開店60周年の特別企画として各種の営業施策を展開してまいりました。

営業面では、JR姫路駅前に開業した大型商業施設への対抗策の一環として、商品力の強化と店舗環境の整備に引き続き注力してまいりました。具体的な取り組みといたしましては、まず、1階山陽姫路駅エントランスに路面店として人気の「ベルギーワッフルマネケン」を導入するとともに、地階食品フロアにおいては和総菜「まつおか」をオープンしました。また、改修工事のため約2年間閉鎖されていた地下商店街の再オープンにあわせて地階エントランスを明るい装いにリモデルし、お客様の誘引力強化に努めました。5階生活雑貨フロアにおいては、売場の配置替えを中心とした改装を行い、お客様がより見やすく選びやすい環境に見直しを行うとともに、「姫路ロフト」の売場面積を拡大し、品揃えの充実を図りました。美術催事といたしましては、日本を代表する彫刻家である流政之、日本画の浜田泰介など有名作家の個展を開催し、大きな成果を上げることができました。また、6階催事会場では、バックヤードを転用して売場を拡大し、ゴールデンウィーク特別企画として「ポケモンセンターin山陽百貨店」を開催するなど、第二会場として各種催し物に活用しました。

経費面におきましては、政策的に実施した開店60周年企画各種宣伝広告費や改装経費の増加を賄うべく、照明器具のLED化を推進して光熱費の節減を図るなど、限られた経営資源の中で効率的な運用に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は4,994百万円（前年同期比2.6%増）、連結営業利益は67百万円（前年同期比22.3%減）、連結経常利益は81百万円（前年同期比12.4%減）、連結四半期純利益は50百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、13,445百万円となりました。これは主に、季節要因による受取手形及び売掛金の243百万円増加や商品の79百万円増加、借入金の返済による現金及び預金の514百万円減少などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ154百万円減少し、12,198百万円となりました。これは主に、季節要因による支払手形及び買掛金の296百万円増加や、返済による借入金の517百万円減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、1,247百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加50百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

本日公表の「平成26年2月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成25年4月15日付「平成25年2月期決算短信」において公表いたしました平成26年2月期の業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,604,841	1,090,746
受取手形及び売掛金	587,896	831,870
有価証券	699,734	699,786
商品	925,050	1,004,621
貯蔵品	21,089	23,891
繰延税金資産	16,762	16,808
その他	127,740	159,413
貸倒引当金	△56	△80
流動資産合計	3,983,059	3,827,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,886,805	3,894,095
土地	4,724,084	4,724,084
その他(純額)	205,659	242,934
有形固定資産合計	8,816,549	8,861,114
無形固定資産	119,488	123,391
投資その他の資産		
投資有価証券	91,597	100,256
繰延税金資産	12,409	12,409
差入保証金	468,198	468,138
その他	69,351	69,055
貸倒引当金	△15,698	△15,558
投資その他の資産合計	625,858	634,301
固定資産合計	9,561,895	9,618,807
資産合計	13,544,955	13,445,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841,275	2,137,560
短期借入金	1,770,000	1,585,000
未払法人税等	66,516	27,166
前受金	2,028,000	2,092,172
商品券	1,431,415	1,410,459
賞与引当金	14,623	29,564
商品券回収損引当金	278,500	277,300
その他	540,462	593,840
流動負債合計	7,970,792	8,153,062
固定負債		
長期借入金	3,950,000	3,617,500
繰延税金負債	7,807	10,456
退職給付引当金	262,455	258,525
その他	161,808	159,036
固定負債合計	4,382,070	4,045,517
負債合計	12,352,863	12,198,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	780,311	830,765
自己株式	△14,986	△14,986
株主資本合計	1,177,879	1,228,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,212	18,951
その他の包括利益累計額合計	14,212	18,951
純資産合計	1,192,092	1,247,285
負債純資産合計	13,544,955	13,445,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	4,867,966	4,994,301
売上原価	3,794,585	3,918,434
売上総利益	1,073,380	1,075,866
販売費及び一般管理費	986,509	1,008,361
営業利益	86,870	67,504
営業外収益		
受取利息	273	255
受取配当金	103	103
受取家賃	10,016	9,107
債務勘定整理益	36,295	34,781
その他	17,259	16,466
営業外収益合計	63,948	60,714
営業外費用		
支払利息	29,025	20,280
商品券回収損引当金繰入額	26,954	25,168
その他	1,562	1,024
営業外費用合計	57,541	46,473
経常利益	93,277	81,745
特別利益		
固定資産受贈益	—	1,500
特別利益合計	—	1,500
特別損失		
固定資産除却損	—	9,083
減損損失	436	—
特別損失合計	436	9,083
税金等調整前四半期純利益	92,840	74,161
法人税等	34,786	23,707
少数株主損益調整前四半期純利益	58,054	50,454
少数株主利益	—	—
四半期純利益	58,054	50,454

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	58,054	50,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,672	4,738
その他の包括利益合計	△2,672	4,738
四半期包括利益	55,382	55,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,382	55,193
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループの報告セグメントは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。